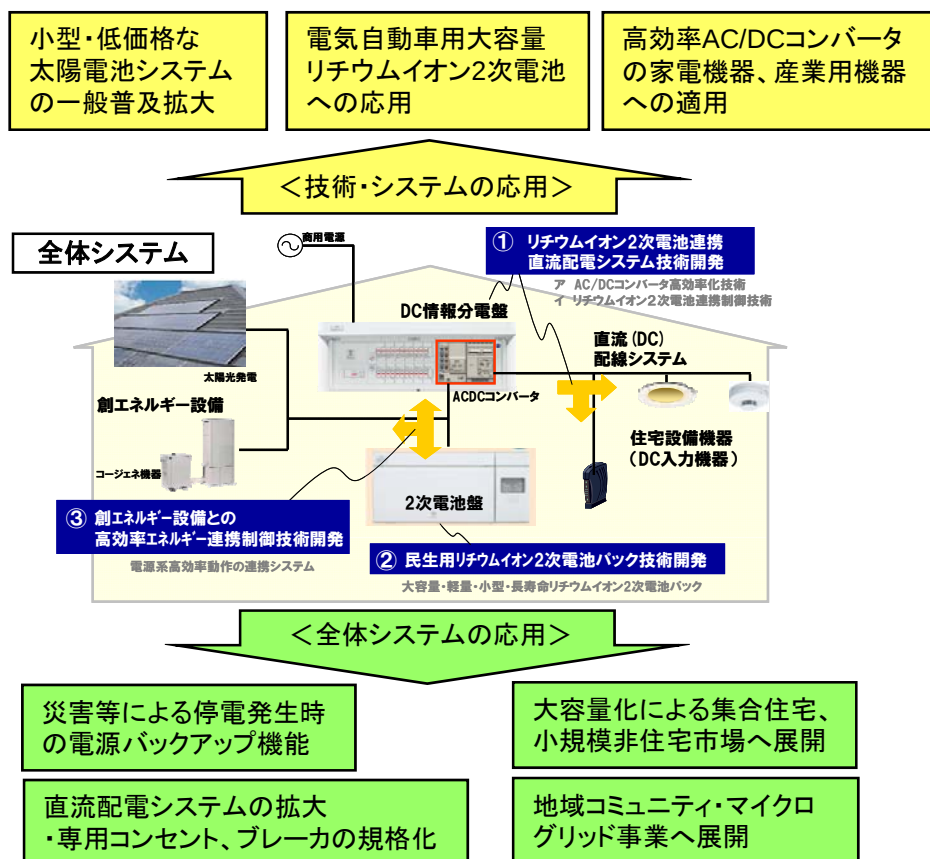


(11)技術・システムの応用可能性

リチウムイオン2次電池連携直流配電システム技術では、今回開発したシステム以外でも高効率AC/DCコンバータを家電機器や産業用機器へ適用することが可能である。また、民生用リチウムイオン2次電池パック技術では、電気自動車用大容量リチウムイオン2次電池への応用が期待できる。さらに、創エネルギー設備との高効率エネルギー連携制御技術では、小型・低価格な太陽電池システムの一般普及拡大が狙え、更なるCO₂削減効果が期待できる。

全体システムにおいては、住宅設備機器の省エネの実現と同時に災害などによる停電発生時の住宅設備機器の電源バックアップ機能も備えることができる。さらに、住宅設備機器だけでなく、一般家電機器への適用を促進するための専用コンセントやブレーカーの開発を活性化することや、エネルギー容量を増加することにより集合住宅、店舗などの小規模非住宅分野や、地域コミュニティでの電力送電のマイクログリッド化へと規模を拡大することが可能であり、広い分野で導入が期待できる。

以上により、本システムの開発により家庭等民生部門に加えて産業部門、公共部門においても大幅なCO₂削減効果が期待できる。



(12)技術開発終了後の事業展開

○量産化・販売計画

- ・2010年に製品設計、2011年に量産設計を行い、商品生産・販売開始を実施。
- ・2014年までに量産設備投資により直流配電システム用部材の低コスト化を推進
- ・2016年までに既存住宅対応のシステム軽量化、省施工化を推進
- ・システムの一般普及拡大のため、2014年を目処としてESCO事業やリース販売など販売形式の多様化を実施
- ・2016年を目処としてシステムの海外事業展開によりさらなる低コスト化を推進。

○事業拡大シナリオ

年度	2010	2012	2014	2016	2020 (最終目標)
低コスト化 軽量化 技術開発	製品・量産設計	量産設備投資 部材低コスト化技術開発	システム軽量化、省施工化	システム全体の低コスト化	
販売網による 販売拡大	グループ、連携会社との連携		ESCO事業、リース事業展開		
海外への 事業展開	海外動向調査		アライアンス推進、システムの海外販売展開		

○シナリオ実現上の課題

- ・事業化に向けたDC重量型通信の低コスト化技術開発
- ・リチウムイオン2次電池の低コスト、高容量化技術開発
- ・PVパネルの低価格化のため、海外PVメーカーとのアライアンス推進
- ・販売網拡大のためのグループ及び系列会社との連携強化
- ・海外への事業展開に向けたグローバルな販売戦略

○行政との連携に関する意向

- ・更なる省CO₂型機器の開発に対する政府方針の明確化
- ・一般家電機器のDC化推進のため、電気機器メーカーや電力会社への働きかけ
- ・直流配電システム普及のため、国や地方公共団体による設備設置者への助成金等の導入支援事業